

【記入例】

移行支援シート

～とぎれない支援のために～

小学校 → 中学校

このシートは、お子さんに必要な支援内容や方法などについて
進学先の学校に伝える際に活用するものです。

在籍する小学校の先生に記入してもらい、保護者の方が直接、
または小学校の先生を通して進学先へお渡してください。

熊本市教育委員会総合支援課

フリガナ 子どもの名前	性別 ()	生年月日	平成 年 月 日
保護者名		保護者 連絡先	
住所	熊本市 区		
在籍校		在籍校 連絡先	
記入者		記入日	令和 年 月 日

1 現在行っている主な支援の内容

(1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援の必要度を下記の3つより選んで記入してください。

空欄：配慮・支援の必要はない。

○：何らかの配慮・支援がほしい。

◎：多くの配慮・支援がほしい。

(2) ○又は◎の項目について、これまで行ってきた配慮や支援、及びその結果を具体的に記入してください。

項 目		支援の必要度	主に小学校で行ってきた配慮・支援とその結果
健康・身体機能	1 健康面に関する配慮		特記事項なし
	2 見え		
	3 聞こえ		
	4 姿勢保持		
	5 移動		
	6 手指の動き		
	7 その他（ ）		
身辺処理・生活	8 食事	○	8 パンを食べるときにちぎって食べるように声をかけることでのどにつまることが少なくなっている。 11 モデルの写真を見ることで、机の引き出しの中の整理整頓をすることができるようになった。
	9 排せつ		
	10 衣服の着脱		
	11 片付け	○	
	12 用具の使用・活用		
	13 その他（ ）		
社会性・行動	14 指示や話の内容理解	◎	14 急な時間割の変更の場合には時間割カードを使用して個別に説明を行うことで変更を受け入れることができる。 15 話をする時には写真を見せることで話の内容の理解度が高まった。
	15 意思の伝達	○	
	16 人とのかかわり		
	17 遊び		
	18 集団行動・役割		
	19 決まりの理解や遂行		
	20 感情のコントロール		
	21 危険回避・危険予知		
22 その他（ ）			
学 習	23 聞くこと		24「今日楽しかったこと」を話すときに「いつ」「だれと」「どこで」「何をした」「思ったこと」のカードを提示することでできるようになった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; text-align: center;">「○○することで△△できるようになった。」 という表現で書きましょう。</div>
	24 話すこと	◎	
	25 読むこと		
	26 書くこと		
	27 計算すること		
	28 推論すること		
	29 その他（ ）		

項 目		主に小学校で行ってきた配慮・支援とその結果
興味・関心等	得意なこと・好きな活動 作業をしてほめられること	給食委員会で、仕事の手順表を見ながら仕事を覚えとても意欲的に頑張っていた。 委員会の常時活動が終わると委員会頑張りカードにシールをはることを励みに頑張ることができた。
	苦手なこと・嫌いな活動 初めての場所・検診	初めての場所での活動は、事前に場所の写真を見せることで落ち着いて活動できた。 検診前に絵カードを示して、どのような検診が行われるのか説明し、友達が検診を受けている様子を見せることで、安心して受けることができた。

2 学校に伝えたい支援内容

(1) 継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や働き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など）、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手だてや配慮事項など

あまり得意でない漢字の学習を行うときには、見通しが持てるように、何をするのか、学習のどこがゴールなのか明確にする。できたことを的確に評価していくことで高い意欲で学習に取り組んでいる。

情緒が不安定になったときには、予めクールダウンスペースを設定しておき、そこで落ち着くまで一定時間過ごし、落ち着いたら学習に戻ってくるようになってきている。

(2) 学校生活に関する保護者の要望・期待等

毎日笑顔で登校し学校を楽しんでほしい。

(3) 関係機関

関係機関	連絡先
〇〇病院 〇〇科 主治医 〇〇△△ 先生	〇〇〇-〇〇〇〇

このシートの内容を進学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

令和 年 月 日

名前（保護者）

【資料】 各項目の観点例

項目		各項目の観点例
健康・身体機能	1 健康面に関する配慮	睡眠, 栄養, 生活リズム, 呼吸, 体温, 脈拍, てんかん
	2 見え	視力, 視野, 色覚, 光覚, 眼球運動, 斜視
	3 聞こえ	呼び掛けや音への反応, 聴力, 補聴器, 人工内耳
	4 姿勢保持	首のすわり, 寝返り, 座位, 立位, 姿勢変換, 変形
	5 移動	歩行, 車いす, 歩行器, 杖使用, 階段
	6 手指の動き	指の開閉, つかむ, 持つ, 操作する, 巧緻性
身辺処理・生活	8 食事	好き嫌い, はし等の使用, そしゃく, えん下, 食事の形態
	9 排せつ	排便, 排尿, 導尿, 排便後の処理, 手洗い
	10 衣服の着脱	着る, 脱ぐ, ハンガーの使用, くつを脱ぐ・履く
	11 片付け	用具の整理, 衣服の整理
	12 用具の使用・活用	はさみやのり, 筆記用具, 諸器具
社会性・行動	14 指示や話の内容理解	指示の理解・遂行, イメージの共有
	15 意思の伝達	言葉, 視線, 指さし, 身振り, サイン, 絵・文字カード
	16 人とのかかわり	視線の共有, 家族とのかかわり, 教師や友達とのかかわり
	17 遊び	遊びの様子 (一人遊び, 平行遊びなど), 遊びのルール
	18 集団行動	集団行動への参加
	19 決まりの理解や遂行	順番, 幼稚園・保育所の決まり, 公共施設の利用
	20 感情のコントロール	多動性, 衝動性, パニック
	21 危険回避・危険予知	交通ルールの遵守, 危険な場所への立入, 火気や刃物の使用, 異食
その他	清潔, 衣服の調節, あいさつ, 自然へのかかわり, スケジュールの理解や変更, こだわりの有無, 文字や数への興味・関心 等	